

川柳	川柳エピソード	ペンネーム	年齢
降りようとドア前立つも開（ひら）かない	これは左沢線にまだ乗りなれない頃の体験です。左沢線って、自動でドアが開かない時があって、自分でドアを開けるシステムなんですよ、ね、、、。知らないとは一っとドアの前で突っ立てることになります。	おさかなちゃん	
ざわ線は運休知らず！最強列車	どんな大雪でも止まらない、最強列車。それが左沢線です。通勤・通学者の味方ですね。		
待ってけろー叫んで走った寒河江駅	昭和50年代のお話。のどかだったなあ。	管理栄養士の アッコせんせ （笑	
沢線で通いし母校はや百年	若き日の思い出	匿名	
ざわせんで県のカジトリ話し合い	沢線人事	匿名	
テアテアと線路開通はやり歌	テアーテア節	匿名	
なでら山集落走る音楽し	70年前　高畠電鉄で通学し、今改めて当時を懐かしく思い出しました。	清子「せい子」	
世忙しのんびり走る町風情			
ももとせや通勤学の町の足			
百歳や世の移り知る生き字引			
「どごまでだ」左手あげて「あでらざわ」	昭和5年に乗っていた頃の思い出です。車掌さんが「どちらまで？」と尋ね「左沢まで」と答えるやりとり。左手と左沢をかけている所と、あえてなまって話す所がポイントです。	匿名	91
学生帽祖父のオーバーコートで相席す	高校時代の部活は学生帽が必須でした。当時の左沢線は、二人掛けの座席で、4人が向かい合って座る配列でした。知らない人と相席になると恥ずかしかった思い出があります。	昭和の おじいさん	64
自転車で勝ったことがある西寒河江まで	左沢駅から西寒河江駅まで自転車で競走したことがあります。高松経由の左沢線に勝ちました。		64
汽車ポッポあれから百歳（ヒャクネン）ザワ線だ	子供の頃、汽車が駅に到着する時刻になると、よく妹、弟を連れて汽車見物に行った時の事を思い出されます。	匿名	85
柴橋の南に大江の飛び地あり	左沢駅の一つ隣の柴橋駅の南側には寒河江市に囲まれた大江町があります。	H.A	
山形を出てすぐ左に山形城	山形～北山形全線開業5年後までは左沢線だったのでギリギリ左沢線川柳となっています。		
どんな日も休まず走る沢線は	車の運転できない私にとって大切な足になってくれる左沢線は、私の味方です。	ともママ	59
花火大会行くたび並んだ駅舎です	一年で最も活気づく左沢駅構内の長い行列がなつかしい!!	雪女 （ゆきおんな）	77
孫連れて「さくらんぼ風っこ号」の客となる	山形から寒河江駅まで幼稚園の孫と一緒に。田んぼの中、風の中走った左沢線の鮮明な思い出。	雪男 （ゆきおとこ）	78
横笛を吹きながら忍ぶ百年前	後免町囃子座は天保14年より始まり、100年前の4/23全線開通の日に新たな曲「しんばやし」がお披露目されました。	後免町 ふえ吹き老人	67
AトレインかしらもじAはあてらざわ	テイクザAトレイン（スウィングの曲名・記念事業の日に演奏?）	ビッグバンドA	67
この駅は誰も読めない左沢	左沢は全国でも読めない駅名ベストテンにはいるとか	まっ赤なりんご	65
旅立ちは昔舟歌今チャイム	昔の旅立ちは小鵜飼船で最上川舟唄を唄いながらだったが、今では駅のチャイム		
酒田まで舟でくだるか機関車か	100年前の移動方法ではなかったか。今は舟からS L、そしてディーゼルへ。		
沢線の百年はまだ通過点	100年200年と続いてほしい！	moon boy	58

川柳	川柳エピソード	ペンネーム	年齢
トンネルをくぐりたび香るS Lの煙	高校生活　3年間の思い出	高校1年の春	67
上山へ汽車通より速いバイク通学 あの時の友は4人今2人	高校生活　3年間の思い出	高校2年の春	67
5時半の沢線に揺られて上山	高校生活　3年間の思い出	川口の高校生	67
毎日の部活帰りは寒河江止まり			
元気でね両手にかかえ子の笑顔	帰郷した子どもが左沢線に乗って帰るとき、両手いっぱい土産をかかえて、笑顔でいるが、親の目からは涙が出ているという様子を詠んでみました。	ペロメ	63
しゅーなあ終着駅あてらざわ	左沢線の終着駅であるあてらざわは、とても素敵な街です。良いという方言を使って、しゅーなあと表現してみました。		
トンネル抜けそこに見えるは 我が古郷（ふるさと）	大江町を離れて住んでいる子どもが、左沢線に乗って帰郷した時に、最上川の流れを見て、帰ったと感じるそうです。		
柏瀬（かしわどろ）鴨たわむれる窓ごしに	電車に乗っていると、冬の風物詩である鴨の群れが、窓越しに見えとても癒されます。		
お帰りと迎えてくれる最上川	トンネルを抜けると、まもなく左手に最上川の雄大な流れが、お帰りと迎えてくれる様に感じます。	12番	38
待ちわびる電車の音子の帰り	嫁いだ娘が、孫を連れて帰ってくる時電車の車輪の音が近づくにつれて、心が躍る様子を詠んでみました。		
沢線や寝過ぎ起され終点だ	左沢線通称「沢線」と読んでいます。つい気持ちよく寝入ってしまった時がなつかしい。	花青素	16
光りゆく冬田を望み走りゆく	仙台に向かうため、左沢線で北山形に向かっていった時の風景を川柳にしました。すごく白くてキラキラ光る一面の雪景色が電車から見えた時は思わず「うわぁ・・・と言ってしまう暗いキレイでした。晴れて青空も見えて尚更キレイでした！		
花火見せゆっくり走る線路上	花火大会の夜は、トンネルを抜けると花火を見せる為か、ゆっくり走行してくれました。ちょっとの時間でしたが心にくいサービスですね	ジュン ばあちゃん	68
田植え時故郷（ふるさと）の香無人駅	久しぶりの休みの日、無人駅に降りた時、故郷のにおいがしたりしも田植え時だった。	チェリー	64
子がうまれ学びの足から娯楽へと	学校への移動手段でしかなかった電車も、はしゃぐ子どもと乗ると楽しさがあふれてくるなあ。	アビー	34
若き日のそばの香りと通う俺	学生の頃、ホームに立ち食い蕎麦があり、行きも帰りも匂いに誘われたものです。大学生になってしばらくして帰省したらなくなっており、二度と味わえない蕎麦の味として記憶に残っています。	メイヒュー	34
雨や風大雪さえもなんのその	左沢線の強さをアピールしました。	ビール最高	41
朝雪をかきわけ走る田舎町	朝に左沢線を見て、田舎町を走りながら線路の雪をスノージェットでかきわけてすすむ所をよんでみました。	サクランボ キラー	8
うたた寝し大河を眺め我駅に降る	いつも心地良く乗車させて頂いております。汽笛で目覚めいつもの最上川が見え安心感を感じさせていただいて、駅に無事到着すると「ホットー息（えき）」ですね!!	あてらざわざわ	62
薫風をほほで感じた風っこ号	高校生の頃、さくらんぼ風っこ号に乗り初夏の気持ちのいい風を感じたので思い出しました。	匿名	34
トンネルを抜ければ大河一世紀	誰もが言う。“あの景色は何とも言えない程いい”と。重要文化的景観の地ならではの言葉である。	くんざの おっちゃん	78

川柳	川柳エピソード	ペンネーム	年齢
舟運を引き継ぎ百年沢ライン	元禄からの最上川舟運の諸物資を鉄路の左沢線が担ってくれた。	くんざの おっちゃん	78
青春を乗せて百年沢ライン	高校生時代の青春を乗せ、出会いと別れの青春列車でした。		
一世紀なお一世紀沢ライン	さらに百年以上続きますよう祈りを込めて!!		
四代を乗せて百年沢ライン	4代も通わせてもらった左沢線に感謝。		
なぜ故にそんなに熱い足元暖房	冬場のざわ線の座席の暖房は本当に協力!!ずっと座っているとふくらはぎが痒くなるくらいです。でもきっと寒くないようにという優しさですね♡	おさかなちゃん	
おかっぱの涙集団就職生	昭和35,6年ごろ左沢駅から多くの中卒者が就職のため都会に旅立っていきました。クリームとオレンジのツートンの ガスカー 。不安も大きかったでしょう。別れの涙がありました。	上村　ふじを	67
車窓から広がる絶景水郷の町	左沢駅を発車して間もなく広がる大江町の街並みを思い浮かべました。	りよっさん	45
発車してすぐに広がる大パノラマ	左沢駅を発車して間もなく最上川の絶景が広がるスポットを思い浮かべながら考えました。		45
雪の中走り続ける100年間	おじいちゃんやおばあちゃんが生まれる前から、雪の中を走り続けているのがすごいと思ったから。		11
弟と汽車見に行きし遠き日々	昔は「汽車見」と称して、爺さん婆さんが孫を連れて蒸気機関車を見に行ったものです。	聴江堂	71
沢線（ザワセン）と呼んで乗ったな通学時	高校の通学で乗っていました。左沢線と呼ぶ人は誰もなくて、ザワセンと呼んでいたことがなつかしく思い出されます。	トッピー	36
白鷹へ伸びる線路に夢を馳せ	楯山公園から左沢への街並みを眺めていたら左沢駅のその先へと続く線路が頭に浮かびました。	サットボン	45
マイカーは中止左沢線（ざわせん）スタート喜寿の旅	いくつの路線に乗れるかに挑戦したスタートの駅は寒河江駅でした。	雪男 （ゆきおとこ）	78
長旅にほっと一息最上橋	今は亡き両親はよく孫を連れて旅に出ました。列車が左沢駅に到着して最上橋を見てきっとほっとした気持ちになったと思います。	こころにうたお	69
車窓（まど）からの春夏秋冬美しい	平成22年秋まで大江町に住んでいた私が、初めて左沢線（俗称ザワ線）で汽車に乗ったのが6歳の時で、トンネルと鉄橋を見せたいと祖父母に誘われての事であったが、あの日のことが今も忘れられない。	結城　牛童	86
ザワ線の初乗り今も忘れられず			
ザワ線の初乗りあれから80年			
先頭の列車の窓に子の笑顔	山形に内職の品物を納めに行くとき	内職納品	66
いつも乗るあの子の車両で本広げ	通学列車で	片思い	66
目が覚めて慌てて降りた違う駅	昔、通勤列車で居眠りをして	途中下車	66
トンネルを抜けると朝日最上川	いいところだな～	桃源郷	66
沢線のリュックの山に兎は隠れ	昔は登山客が左沢線に乗って、朝日連峰に登山	山女	66
登山客リュック山積み子が隠れ	昔は列車で登山客が左沢で降りた	山男	66
スマホ見て無言の列車やや淋し	令和の時代に、久々に列車に乗って	ガラケーおじさん	66
なんでやのぐるっと廻る高松へ	昔から思っていること	左沢住人	66
汽笛聞きはしゃぐ園児の列車旅	園児の遠足	保育士	66
トンネルは暗くて怖い肝試し	昭和40年代の子供時代です。	昭和男子	66
発車待て急いで走れ高校生	歴代、優しい駅員さんがおりました。	優しい駅員	66
転車場今は駐車場に成りにける	蒸気機関車の時代	文化遺産	66

川柳	川柳エピソード	ペンネーム	年齢
高松で乗り換え祖母へ笑顔見せ	昭和40年代の子供時代です。	お小遣い	66
トンネルだ煙が入る窓閉めろ	蒸気機関車の時代です。	団塊世代	66
駅前も人影寂し大通り	昔はにぎやかだった	商店街	66
長崎や高松金沢もある左沢線	何でだろう？何でだろう？	羽前ですが	66
ガタゴトと雪の月山桃花野	東京から春帰省するたびに見る懐かしい	青い列車	66
込み合う下り寒河江で座れる	山形からの仕事帰り	左沢住人	66
山形で下り列車に乗ったはず	20代山形からの仕事帰りに疲れて寝過ぐす	柴橋上り最終	66
つり革で体操選手真似るぼく	10代の子供	小学男子	66
長ぐつで山形行くの恥ずかしい	10～20代の女性	初冬女子	66
旧友と向き合い座る帰省旅	座席が2人で向かい合う時代	土産話	66
就職の初旅涙駅ホーム	集団就職で初めての長旅	元中学生	66
鉄橋だトンネル2つで楽しいな	子どもの頃から乗るたびに思う	童謡	66
汽笛なるもの悲しさよ夜の街	特に秋から冬に	子供心	66
始発駅一家5人で座席占め	2人向かい合わせで1ボックス4人掛け	左沢住人	66
お土産を網棚の上忘れけり	昭和50年代東京からの帰省時代です。	盆帰り	66
汽車に乗りデパートラーメンうれしいな	昭和40年代の子供時代です。	七日町	66
カッコイイ私の好きなあの走り	左沢線の車輛の色が好きです。	もも	45
天を突く駅前広場の大鳥毛	13区の奴は3年に1回秋祭りに出る。駅前広場での披露はハイライトである。奴の一番大きな槍を持つのは大鳥毛。今年出場するつもりである。	小漆川　太郎	64
ぼくの分切符を握る一年生	生まれた時から利用した左沢線。保育園に入っても「無料だからお前の分の切符はないよ」と祖母に言われた。切符をもらう一年生にはやりたかったと思った。	園児　好太郎	64
メキシコと西安（シーアン）女性を駅で待つ	娘が大学に入り友達を連れて里帰りをすると連絡が入った。何とメキシコ人男性と中国西安から来た女性だと言う。左沢駅に迎えに行った。メキシコ人男性は日本語が話せないという。西安の女性は三国志で有名な司馬懿仲達（しばいちゅうたつ）の一族の末裔だという。なんとか出会うことができた。平成27年8月15日花火大会の日。	司馬孔明（しばこうめい）	64
駅前に大判キオスク映画館	まだテレビを買わなかった時代映画館は娯楽の一番目だった。週刊誌もキオスクが一番早かった。駅前は大江町のアミューズメントパークだった。（大判は大判焼きのこと）	シネマくん	64
ボストンからトンネル越えると故郷だ	1999年8月1か月のアメリカ、マサチューセッツ州の短期留学を終えた。ボストンから自宅まで飛行機などを乗り継ぎ24時間かかった。2つのトンネルを超えて見た左沢の夜景はまさに故郷だった。	小漆川　太郎	64
午後六時林檎畑に汽笛なる	我が家は林檎農家である。左沢駅の北側丘陵に畑がある。左沢駅に着く汽車の音を聞きながら畑の作業をした。時計代わりにもなった。作業終了の合図にもなった。作業をしていた祖父も父も鬼籍に入った。	アップル・ブルツ	64

川柳	川柳エピソード	ペンネーム	年齢
汽車電車列車ガスカーディーゼルはない	左沢線の車両を汽車という人、電車という人がいる。正しくはない。汽車はもう走ってはいない。昔ガスで走っているときにガスカーと言った。今でもガスカーと言う人がいる。正式な「ディーゼル車」なんて会話で使う人はいない。変な風習だと思うがこれが沢線だ。	ガスカーが好き	64
左沢岳人達の集う駅	北海道の知人も「左沢なら朝日登山で行った駅だよ」と言っていた。登山の季節になると各地から登山客が来る。大朝日に登った時も老若男女沢山の人が登っていた。	朝日岳人	64
孫を連れ寒河江駅まで蕎麦食べに	娘を子守りしている母が、隣のおばさんと孫と連れ添い自転車に乗り左沢駅に行った。4人で寒河江駅に蕎麦食べに行ったと言う。仕事から帰ってきた私は驚いてその話を聞いた。小さな4人の冒険だったのだらうと思った。30年ほど前の懐かしい話だ。	孫太郎	64
ボックス席宿題ここでも終わらない	高校時代、左沢7時22分発の汽車で通った。ボックス席で4人掛けだった。部活動はバトミントン部。夜遅くまで練習し毎日クタクタだった。汽車の中は貴重な宿題をする時間だったが、当然終わるはずはなかった。	佐々木 薫（かおる）	64
留袖で電車に乗って式場へ	35年前車酔いする祖母が、電車に乗って私達の結婚式の会場に来てくれた。結婚式の送迎バスから、祖母の姿を見つけ感謝した。	35年前の花嫁	62
長崎や金沢駅へと子を送り	山形の高校へ通学する子供達。左沢発には乗り遅れ、長崎駅、金沢駅へと送った懐かしい思い出です。	送迎担当の母	62
待ってるよはじける笑顔フルーツライン	左沢線は観光客、通勤通学などで利用し、駅は終点です。皆元気に笑顔でおりてほしい、帰宅してほしい気持ちを詠みました。	デコちゃん	75
ザワ線はたくあん弁当プンプンだー	楽しかった青春の一ページ!! ありがとう。私は山辺~山形まで高校に通学しておりました。左沢から30分かかって山辺駅に着くころには、電車（その当時ガスカー）の中は、漬物のにおいで充滿していました。「だからザワ線はキライなのよ!!」など大人もボヤいていました。60年以上になる懐かしく思い出しました。	匿名	80代
長旅にほっと一息最上橋	今は亡き両親はよく孫を連れて旅に出ました。列車が左沢駅に到着して最上橋を見てきっとほっとした気持ちになったと思います。	こころにうたお	69
あてらざわ読めぬ鉄路よ我が故郷	難読駅名として評判になったとはいえ、鉄道ファン以外には縁遠い路線だが、この鉄路こそ故郷に続く道。都会に住むやまがた県人そんな思いではないでしょうか。	酔水	68
若うらの夢をも乗せる通学線	私の父は昭和22年から28年まで左沢駅の駅長でした。駅長の「発車オーライ」の合図で車掌さんのピーと笛、そして機関車のポーと笛と煙をもくもく吐きながら走り出すのでした。私も当時通学生でした。なつかしい思い出です。	すみ	87
沢線の元番長も今はジジババ	昔は左沢線の番長とよばれた人も今やおじいちゃんとかあちゃんとなったな、と昔を懐かしんで詠みました。	からくり時計	73
汽車だった山形着けば鼻黒に	昔はディーゼルエンジンで走る汽車であったため、左沢から乗り山形に到着するころには鼻の中が真っ黒になったものでした。		

川柳	川柳エピソード	ペンネーム	年齢
始発駅15才の春の巣立ちかな	少し昔、中学校を卒業した級友たちは、金の卵ともてはやされて集団就職で東京方面に巣立って行きました。左沢駅のホームで見送りました。あれから63年が経ちました。	大沢 はじめ	78
水郷の文化をはこぶ鉄の道	百年の長い間様々な人との交流、文化歴史の発展に大事な役割をはたした左沢線を詠んでみました。	耕扇	88
春の駅心を染める桜色	左沢駅周辺が桜満開の時美しい景色に心まで洗われる様子を詠んでみました。		
百年の安全運転ありがとう	百年の長い間、大事な命を守っていただき感謝の気持ちを詠んでみました。		
最上川景観見とれる始発駅	左沢駅を発車するとまもなく眼下に広がる雄大な最上川の流れを詠んでみました。		
観衆の熱を運んで花火舞	左沢の花火大会は歴史が古く、左沢線も臨時列車を運行し多方面から多くの人々が見物に訪れにぎわった様子を詠んでみました。		
トンネルで窓から煙顔にスス	私たちが通学した昭和年頃は蒸気機関車が運行されていました。トンネルをくぐると黒煙で鼻の周りがススだらけになる様子を詠んでみました。		
あなたとの思い出の駅ざわ線よ	青春時代の様子を詠んでみました。		
花びらの化粧を乗せて列車発つ	駅周辺の桜も満開をすぎそよ風に花びらの舞う季節、列車も花びらに染められて発車して行く様子を詠んでみました。	匿名	70
汽車の窓花火も映る最上川	左沢花火大会の時 列車の窓越しに最上川の水面に映る花火の絶景を詠んでみました。		
孫3人ジイジも送迎卒業す	私にも寒河江中3年、寒高3年計6年孫3人、南高1人東高2人の送迎係長期間左沢線にお世話になり感謝の気持ちを詠んでみました。		
終電車疲れを包み左沢	通勤、通学で終電車に乗ると一日中の疲れが出た左沢駅に着く頃は熟睡し車掌さんに肩をたたかれる様子を詠んでみました。		
終点駅朝日連峰の登山口	左沢線は終点でもあり昔は朝日連峰の登山客が乗り降りする人も多かったとの事（昔は駅前に看板もあった）		
五年（いつとせ）を馴染みし駅は百周年	昭和18年春より5年間冬期間は朝5時半に家を出て、吹雪きの朝などは道なき道を歩きやっと到着した左沢駅では親切な駅員さんに迎えていただきました。当時は学校ごとに乗車する車両が決められており私共が一番最後の車両でした。羽前高松駅前からは三山電車から降りていらっしゃった方達で車内は急に賑やかになりました。まだ幼かった私達でしたが朝な夕なに見た最上川の流れが今も懐かしく思い出されます。		
乗り物酔い沢線利用で治まった	小中学校のバス遠足でも酔い止めの薬は手放せなかったが、3年間の通学利用で治まったことは60年後の今でも心に残っています。	つらら	79
つっぱしれ思いをのせてこれからも	J R 左沢線100周年おめでとうございます。今までどんな時もみんなの思いと共に走ってくれたことに感謝の気持ちを込め、これからも宜しくの思いを込めて。当たり前前に感謝です。	りんちゃん、のんちゃんばあば	58
車窓から動く景色をひとりじめ	子供の頃から大変お世話になり感謝申し上げます。山形市に嫁ぎ50余年運転免許を持たない私です。左沢線は途中に鉄橋やトンネルがあり、子供にとっても楽しいひと時でした。J R 左沢線全線開業100周年誠にありがとうございます。	山形のレデーババ	75

川柳	川柳エピソード	ペンネーム	年齢
雨雪に負けないけれど過疎に負け	日本中の田舎は過疎に悩まされますが、今生きている人物は負けず頑張っています。	配り屋一歩から	72
読めないよでも乗りたいな「あてらざわ」	山形県には8年前に訪ねました。いい思い出です。100周年おめでとうございます。	山之口 和悟	67
雪をかくエンジンの音けたましく	大雪時には列車のエンジン音が大きく会話が不能	瀬戸の花嫁	78
左沢フルーツの香り匂いする	愛称の通り四季折々フルーツの香りが車内まで香り匂いました。		
キハ101フルーツ街道走りいく	左沢線の主力気動車であるキハ101がフルーツ街道を走る		
無人駅迎えに来たは愛犬よ	利用客が無い駅に迎えたのは我が愛犬のみ		
花びらがホームいっぱいに散る桜	屋根のないホームには桜の花びらで正に桜の絨毯		
通学は昔は辞書今スマホ	左沢線の通学生のほとんどはスマホを片手にしている		
笑い声乗せて走るよ左沢	列車の乗客には笑顔で満ちあふれて笑い声いっぱい		
行く先は難読駅の左沢	左沢は地元と鉄道マニアでは読めるが難読駅であります	忘れた草をあなたに	73
初デートフルーツ香りに恋をする	彼女の香水より車窓のフルーツの香りの方が好き		
青春を左沢線に閉じこめて	西村山郡・寒河江市・山形市・地域を県主催「20才のつどい」仲間とボランティア活動をした時の思い出を詠みました。		
乗りたいとあてらざわ線孫指名	電車好きな孫と山形駅に。停車している青色の電車を見て「あれに乗りたい！」と。	山形のあーちゃん	73
孫と行くあてらざわ線往復路	当時8歳の孫（現在15歳）と二人だけで初乗車しての楽しい思い出です。		
乗り鉄の孫とざわ線小さな手	電車好きの孫（外孫当時8歳）が入院。しっかりと手をつなぎ、ニコニコしながら楽しい一日を過ごした懐かしい思い出です。（早15歳になりました）		
あと三つ信号過ぎて降りる女（ひと）	昔列車に乗って山形に通学した頃を思い出しました。	夢野継木（ゆめのつづき）	74
無知を恥じ左沢線乗る旅に出る	遠いけど左沢線に乗ればきっと東北の知識もうんと増えましょう。	鉄路究剣	70
出征の片道キップ左沢	昭和17年叔父は左沢駅から出征し帰らぬ人になりました。	大沢 はじめ	80
ふるさとの駅は終着始発駅	左沢駅には思い出がいっぱいです。自家用車などのない時代お世話になりました。		
左沢駅叔母は20才で嫁に行く	戦後叔母は左沢駅から汽車に乗って山形へ嫁に行きました。		
終点は日本一くん待つ駅舎	駅前のシンボルマーク日本一くん見てそんなことを思い詠みました。	文子	88
100周年喜怒哀楽を乗せ共に	若いころ通学通勤で左沢線に乗りました。あの時の想いを詠みました。		
トンネルドキドキ大都会トンネルウキウキ里	左沢線のトンネルは私にとってどらえもののどこでもドアのようなものです。就職するときに緊張してぐったトンネル、帰省するときにくぐるトンネル内のうれしい気持ちを詠みました。	きみちゃん	64
風の中トロッコ走るさわやかに	イベント列車「さくらんぼ風っこ号」に乗車した際の自然の中でさわやかに走るトロッコ列車を詠んでみました。	サユ	11
1日も休まず走る元気者	どんな悪天候でも運休することなく西村山地域のシンボルとして元気に走る左沢線を詠んでみました。	とっちゃん	9

川柳	川柳エピソード	ペンネーム	年齢
旅人を乗せて目指すはあてらざわ	左沢線を利用して重要文化的景観の街並み散策や雛祭りを見に当町を訪れる人々を思って	宝仙	85
遅刻をし並走足掛けS Lに	左沢駅午前6時50分定刻発車した汽車に、職員の制止も聞かず走りながら飛び乗る人多数いました。	匿名	78
片思いボックス席のあの位置に	ずいぶん昔の時代になりますが当時の気持ちがよみがえりました。大変お世話になりました。	セーラー服	63
城跡の減速電車花吹雪	駅のない町で生まれ育った私は母の実家に泊まりに行くとき計も持たないのに時間がわかる祖父母が不思議でした。あったのかどうかわかりませんが当時ガスカーと呼んでいました。	チロル	63
山形の空に現る999	夜山間部から急に現れると正に銀河鉄道ですね。	猫詩	43
いってらっしゃい夢と希望を乗せていく	これまでもこれからも沢山の学生さんたちが利用する左沢線。こんな時代ですが皆さんの夢叶いますように。		
トンネルに入るまで見送り12年	始発通学の子や孫を汽笛と共にトンネルに入るまで2階の窓から見送った12年です。	ミニトマト	77
はやばやと待合室で列車待つ	明治生まれの祖父は発車40分も前から待合室に腰を下ろしゆったりした気分で出かける人でした。		
最終列車車輛一輛に俺一人	山形で酒飲みの後最終で帰ると柴橋駅で一人になる事が多い。	飲んべえ親父	48
駅員さん「あの人来たね出発だ」	どこの駅でも時間ギリギリに来る人は決まっていた、、？駅員さんが「その人」と判断し出発、合図をしていたね。	山形通学高校生	78
今日もまた改札通らず土手のぼる	朝夕蒸気機関車が一本（往復で2本）デッキに直接乗って通学したことを思い出しました。		
時計より汽笛の音で行動開始	通学途中（徒歩）の汽笛の音で「それ急げ」や「だいじょうぶ」などと通学者（4人）と判断していた。		
電車には加速はまけるが運休なし	奥羽本線の電車と並走するといつも追い抜かれ悔しくなりますが、大雨や大雪など本線が止まっても、左沢線は運休などがなく沿線住民の誇りです。	コバルトOB	47
震災後ざわ線再開ありがとう	東日本大震災後左沢線もしばらく運休し、2011年3月28日に復旧。当時は山形まで列車で通勤していましたがガソリンも不足する中左沢線のありがたさを実感したものでした。※再開時の暫定ダイヤ時刻表が残っていましたので添付します。		
真夏の日トンネル二つで涼むかな	通学で利用した当時の車両キハ40にはエアコンはなく真夏の車両は蒸し風呂でした。窓全開、トンネルの冷気が心地よかったものです。		
沢線と街並み景観いつまでも	令和になりコロナウイルス感染症の終息を願うとともに自然や景色をいつまでも残していきたいと思い詠んでみました。	さくらんぼ農家	29
トンネルを抜けて友はすすけ顔	蒸気機関車がトンネルに入ると「窓を閉めて！」との声がかかり慌てて窓を閉めたものでしたね。今はワンマンディーゼル車で時代の流れを感じます。	anne	66
めがね橋トンネル抜けて今日も在る	トンネルを二つくぐり抜け広がる最上川の景色にやっと着いたときホッとしたものです。		
降りたてば手を振る君と青芭蕉	終点の左沢駅にはなぜか芭蕉が植えてありました。初めて降り立った時になぜ？と思いつつ立派な姿が忘れられません。	seiko	
おにぎりは始発乗りの定食	朝食を食べる時間がなくおにぎりでした。	しゅうちゃん	76
沢線も笑顔の女（ひと）が切符売る	左沢線で開業以来初めてではないか？ガンバレ		

川柳	川柳エピソード	ペンネーム	年齢
駅前一杯飲んで乗りおくれ	一杯ですまくなりつい乗りおくれる。	しゅうちゃん	76
雪の道息をさらして始発乗る	寝坊して発車時刻に間に合うよう走りました。		
鉄橋トンネルぬけて左沢	鉄橋もトンネルのある風景です。		
まあすてきトンネル走り左沢	トンネルを出るとすぐ車窓から清流最上川が目に見える。これは外にはない左沢線を詠んでみました。	ゾウさん	87
ことごとと列車でいかが温と果は	たまには本線から足をのばし普段着の町と温泉とフルーツを楽しんでみては？	チャチャチャ	
お下げ髪濡らし集団就職生	かつて左沢線を利用して多くの中学生在都会に就職していきました。故郷への断ち切れぬ思いを心に秘めながら・・・。	上村ふじを	67
どんな日も走り続けた100年間	雪の日でも毎日走り続け、人の足になっているからこれからも走り続けてほしい。	A 2 H s	17
どこまでもゆく止まらないあてらざわ線	左沢線は山形では寒河江などから山形まで幅広く行く左沢線。	M i t s u k i	17
歴史の輪つなげて進むどこまでも	100年続いている左沢線ならこれからもずっと走り続けてくれると思う。	タムタム	17
嵐さえ気にせず走る左沢	左沢線はどんな天気でもものともせずに運行しているので嵐さえも気にせず走るぞということこのようにしました。	畠胡瓜	17
晴天も冬の雪でも走り出す	春夏秋冬どの季節でも止まらず走っているのこの句にしました。	とうか	17
沢線は何があっても止まらない	沢山雪が降っても止まることがないのでこの川柳にしました。	り	17
雪積もり列車の輝き反射する	私は普段左沢線を利用しないけど、雪の中でも頑張って走り続ける沢線がかっこいいと思いこの川柳を考えました。	シータ	17
ありがとうドコドコはしり百周年	まず、ありがとうを伝えました。ドコドコは電車が走る音です。100周年という事で100周年を入れたかった。	コケタニ君	17
ガタンゴトンみんなのためにいつでもね	左沢線は四季のいつでも元気に走っているイメージなので書きました。	こはね	17
どんな日も進みつづけるみんなの足	雪が降ってもどしゃぶりでも左沢線はみんなの足となって走ってくれることを表現しました。	A I R I	17
雪に映えみどりに映えるあお列車	春や夏の時の緑色の森林や冬の雪の白さの中で左沢線の青色の車体がすごくきれいだと思ったからです。	若葉	17
あてらざわごうせつでもつっぱしる	左沢線はいつもどんな天気でも走っているのこのういう言葉をあらわしてみた。	グエンフォン ウェレ	17
手を伸ばす流れ星ごとく輝き行く	1本逃すともう当分来ない……。そんな儚さと左沢線の伝統を流れ星と掛けました。	skr	17
目的地どんな日にでも乗せてゆくよ	雪でも雨でも強風でも止まらずにしっかり目的地まで運んでくれる左沢線の特徴を川柳にしました。	ユズハ	17
沢線で寝過ごし注意気を付けて	左沢線に乗って遊びに行ったときに寝てしまいました。	S・H	17
大抵のことでは止まらぬありがとう	大雪や大雨でも運休にならないで動いてくれるおかげで毎日登下校できているのでその感謝を込めました。	ナナン	17
これからも毎日走る大変だ	毎日止まらずに走ってすごいと思った。	シャン	16
左沢線百周年おめでとう	あまり使用していないですが、百周年おめでとうございます。	あ	17

川柳	川柳エピソード	ペンネーム	年齢
自宅から一番近い電車かな	私の住んでいるところは、朝日町で、朝日町には電車がなく唯一近くにあるのが左沢線だから、このような川柳にしました。	朝日の民	17
悪天候ものともしない最強だ	どんなに悪天候でも左沢線はものともせずいつも通りに動いているのを見てこんなに強い電車はどこを探してもないと思うしその強さでいつも登校できているから。	○	17
最寄り駅なのに歩くと二時間半	朝日町に住む私にとって左沢駅は最寄り駅なのですが、歩いていくと2時間半ほどかかるという現実です。	第二関節風味	17
すきま風足元冷える白い冬	電車をつなぐすきまから冬の冷たい風が私たちの足元を冷やしている場面から考えました。	のん	17
安全に夢と笑顔を乗せ今日も	安全に夢と笑顔を乗せ今日も	M	17
左沢100周年おめでとう	おめでとうございます。	その辺にいる高校生	17
水色の走る姿は空模様	これからたくさんお客さんを幸せにしてあげてほしいです。	だいちゃん	18
まだ走るみんなを乗せてどこまでも	100年たってもまだまだ走ってほしいという気持ちを込めました。	W・A	17
青のボディ町の輝く宝物	左沢線を何度も往復してきた電車は今となっては私達の宝物のようなものだから。	ひよこ豆	17
雪景色トンネル抜けて光さす	季節は冬で辺り一面が白くトンネルを抜けた後の光が差し込んできて町が輝いて見えるということを詠んでみました。	ひめ	17
沢線は吹雪に負けず走り出す	どんなに雪が降っても走り続けているのが印象に残り川柳にしました。	ミライ	17
止まらない県民の足強車両	雪が降り線路にたくさんの雪で山形方面の電車が止まる中、左沢線は雪でも運行を姿が全然見られませんでした。県民の足として利用される誇りの強い車両としてこれからも走ってほしいです。	かき	17
左沢列車と思えぬ強さあり	雪がどれだけ強くても左沢線の方が強い。	ザワ	17
ふと見える大江の景色美しい	左沢線に乗るからこそ見える最上川と大江町の景色がいつ見ても本当にきれいで美しいのでそれを伝えられるように書きました。	後藤美咲	17
突き進む雨風負けぬ最強線	最強	コーヤ	17
遠くまで遊びに行ける移動手段	寒河江や山形市に友達と行きたい時に交通手段に限りがある中高生にとって左沢線を利用できるのが便利でいいと思って詠みました。	サットウローニ	17
閑かさや耳に聞こえる音の漏れ	なんとなく	misaki	17
これからも町をつなげて走りぬく	これからもいろいろな町や市を走ってほしいという思いを込めました。「走りぬく」にしたのは最後の最後まで走ってほしかったからです。	まな	17
わが家にも子宝生まれ名は鉄子	事実です。	匿名	89
夜明け前始発の汽笛遠く聞き今の幸せ床の中	想い出です。		
とろろ御飯すすって走った線路みち			
わが町は左沢線（ざわせん）よりも長い町	三郷より朝日岳まで長い長い町ですね。	匿名	
朝日道思いを馳せてあてらざわ	全国より山男が東北のアルプス朝日連峰を目指して左沢駅に乗れば登山口直行。朝日町とも仲良くしてね。	匿名	
八十路越え免許停止でお世話なり	不注意で事故起こし長崎まで乗って長崎より天童免許センターまで歩いて毎日通いました。お陰様で免許できています。	匿名	

川柳	川柳エピソード	ペンネーム	年齢
沢線は寒河江駅だけにぎわい人事	長崎駅も民間人のようです。左沢もとか聞いています。	匿名	
沢線も寒河江止まりで不便線	息子が東京より帰省の度に連絡がい為、山形駅まで送り迎えています。	匿名	
左沢高道路充実この機会	左沢線で遠くから通学生が短靴で雪道を……。昨年1月の大内候補の公約にも出ていましたね。	匿名	
川柳（うた）よりも線路点検老化線	線路と土手はほうぼう枕木が燃えたとか。長崎駅の様に地元協力を願います。	匿名	
Z A W A 線は僕の初恋生みの親	毎朝長く連結された豪華な客車何時も同車両同席に約1時間弱山形まで同じ友と夢を語り通学した若き日を思い出します。	浄念	
車窓より「海だ海だ」と大騒ぎ	55年前遠足で列車に乘りました。左沢駅を出発してまもなく見えた雄大な流れの最上川。なかなか列車に乗る機会もない子供達。大きな川を真下に見てさぞびっくりしたことでしょう。担任は「最上川」だと大きな声で教えました。	ちい子ちゃん	79
雪国を抜けて悠々日本一	俺の故郷は左沢	D O N D O N	64
100年の希望をのせて今走る	長い年月みんなの夢と希望を乗せて運んでくれました。その思いを詠みました。	ゾウさん	87
終電車単身（ひとり）家路に雪しんしん	15年ほど前に左沢の事業所に勤めておりましたが、私が転勤することになり山形市内で送別会をしてもらいました。終電で左沢の一人住まいのアパートに帰るのですが、列車を降りたら駅も街も雪の中に静まりかえていました。私は大好きだったこの町を離れることの寂しさを胸に一人雪が降る中家路を帰りました。私の大事な思い出です。	匿名	66
ふるさとを百年つなぐ古鉄橋	鉄橋は現役最古の鉄橋と聞きました。	ヨーパーチャン	66
乗せたいな孫に花見の鉄路旅	コロナの話題も早くおさまり気後れせずに歩きたいです。		
トンネルを抜ければ拡ぐ最上川	トンネルを抜けたときの風景がすばらしい。		
始発電ななめ向いは君の席	汽車通学した頃の淡い思い出。		
果樹園を縫ってトンネルふたつ越え	左沢に近づく風景	こうふう	68
左沢線（ざわせん）で通った我が家三代	我が家では祖父母が孫までの三代にわたって通勤通学に左沢線を利用してきました。マイカーではなく時間に正確な交通手段として大変お世話になりました。その時代時代で様相も違った左沢線。マイカーブームで利用客も減少していると聞きますが、公共の足、ローカルの足としていつまでも存続することを願っています。		
百年の歴史文化を継ぎ走る	開業100年の左沢線は沿線の各市町村の歴史や文化を受け継ぎ今日に至っています。		
走り継ぐ生生世世の遺産なり	開業100周年を迎える左沢線。今日まで至る道筋は並大抵ではなかったでしょう。でもその偉業は大したものです。沢線は「遺産」です。未来永劫。生生世世（しょうじょうせぜ）の遺産です。これからも左沢線を後の世に語り継いでいく義務と責任があります。		
あっぱれと節目を祝う汽笛鳴る	開業100年という節目を迎えた左沢線。大正・昭和・平成・令和の四時代を地道に走り続けてきた左沢線。「あっぱれ」と声をかけてやりたいです。その感動と感謝、畏敬の念を込めた汽笛（祝いのろし）お祝いの証としての往時の汽笛一声が鳴り響く事でしょう。		

川柳	川柳エピソード	ペンネーム	年齢
ノスタルジーひとしおつのる車窓から	生まれ故郷の西部を離れて約50年になる友人が久しぶりに帰形し、左沢線に乘りました。車窓から見た景觀にうっとりし、郷愁の念にかられ、思わず涙があふれ、どうしようもなかったという話を聞き、左沢線が一役も二役もかってくれたこと、左沢線のありがたさをあらためて感じました。	こうふう	68
百歳の山河の車窓今昔	開業100年（百歳ももとせ）を経た左沢線から眺める車窓からの景觀は、四季を通じて季節に合った景色である。季節を車窓で感じ、ほのぼのと暖かい気持ちでいられるのも今も昔も変わらない。		
左沢線（ざわせん）の積もる話はエンドレス	左沢線で通った頃の時代が懐かしい。話は盛り上がるし話題が尽きない。人とのつきあい、恋愛などなど様々なエピソードで盛り上がり時間はエンドレスで時間はいくらあっても足りない。		
百年の歴史を乗せて今日の空	開業100年の重みがある歴史を乗せて走る左沢線に今日も朝から明るい日差しが差し込んでいます。		
トンネルを二つくぐれば最上川	左沢－寒河江間の短い路線の区間に連続して二つのトンネルがある。二つのトンネルをくぐって見えるのがあの最上川である。いつも見慣れた通りなれたトンネルと最上川だが他では見ることができない景觀である。子供にも大人にも人気のスポットである。		
アナログとモノクロの世を走り継ぐ	口で言うのは容易いが100年の歴史のある左沢線はものすごい。当時は「モノクロ・アナログ」の時代。今は「カラー・デジタル」の時代。激動の100年間走り続けた左沢線。本当におめでとう。ありがとう。おつかれさま。今後も走り続けてね。		
左沢線（ざわせん）の昔話で盛り上がる	一昔前に左沢線を利用した人たちの話は面白い。友達のこと。行商人のこと。服装や持ち物などのエピソード。いろんな話題で盛り上がり時間の経つのも忘れてしまいます。		
左沢線（ざわせん）の学らんの世が懐かしい	大正・昭和初期に通学で左沢を利用した人でしょうか。「俺はな、昔な、学ランを着て、高下駄をはいて、マントを着て、左沢線に乗って学校に行っただんだ！」と昔を懐古していました。		
百歳の山河の車窓長閑（のどか）なり	開業百周年を迎えた左沢線の車窓から眺める風景は山あり川あり、今も昔も変わらぬ風光明媚な景觀である。山形市に通じる寒河江西村山一帯の素朴なのんびりと落ち着いたゆったりした気持ちで乗車できる空間は左沢線の大きな魅力である。		
手を振れば応えてくれる思いやり	左沢線の沿線から孫と一緒に電車に手を振ると今も昔も運転士が汽笛を鳴らし乗り合わせた乗客まで手を振って応えてくれる。他の路線（特に都会の）では見られない人情味あふれる思いやりのあるほのぼのしたドラマが見られる。		
誇らしい日本一を運ぶ足	さくらんぼ、芋煮、美しい自然、人情など、左沢から山形まで観光王国の山形県の中でも日本を代表する日本一のものがいっぱい存在する。その誇らしい日本一のものを左沢線はこの100年運んできた足なのである。「日本一」といえば左沢に「日本一公園」がありますよね。		
百年に歴史と文化・人を乗せ	開業100周年を迎える左沢線は、県都山形市につながる人・物そして歴史の交流をもたらした。左沢線のおかげで歴史・文化の交流が行われたことはその意義は極めて甚大である。		

川柳	ペンネーム	川柳	ペンネーム
左沢→山形市からの左沢	泥酔君	ひだりざわ？いいえ違うよあてらざわ	中野弘樹
S L を人力まわす転車台	Yoshinori Kikuchi	左沢寒河江難解クイズです	
大概是「さざわ」と呼んだ「あてらざわ」	酒乱Q	通学の淡い初恋左沢	
最上川眺めて到着左沢	くたべ	通学路左沢線恋をませ	
左沢旅の楽しさ盲腸線		さくらんぼ甘くすっぱい恋をませ	
混雑も柴橋でおり解放感		親子孫左沢線友として	
掛け干しと安山子手を振る左沢		我が実家左沢線望む丘	
さんざめく心ざわつく左沢線	山口 和也	旅立ちの左沢線眼鏡拭く	アントニオ馬場
幸せの孫がつまんださくらんぼ	かた こりこ	車窓から香り舞い込むさくらんぼ	
左沢フルーツラインの道標		左沢線走るとこの町おーえーなあ	
沢線でちょっとそこまでプチ散歩		もう百年いやまだ百年左沢線	
幸せはフルーツラインの夫婦旅	てぬき親父	近づきてデカンショウに足ふまれ	匿名
フルーツと紅葉が誘う途中下車		毎日の隣の席に悲喜こもごも	匿名
ぶらり旅フルーツライン秋景色		J R 百年の歴史左沢	後免町ふえ吹き老人
車窓からカーテン越しに最上川		田園を走る電車の空の色	くーすけ
夢見てたさくらんぼ狩りに途中下車		五月雨を集めて走る左沢線	
秋うららフルーツラインが上機嫌		左沢「さざわ」とずっと読んでいた	
しびれてるフルーツラインとサクランボ		左沢読めたあなたは鉄仲間	ケニー瑠珂
沢線の印象は今もさくらんぼ		間違える難読地名あてらざわ	
沢線と最上川とがくれんぼ		乗りたいなトロッコ列車・S L に	
沢線の頑張りにあげる金メダル		最上川橋梁立派な土木遺産	
満員のりんごっ娘達で上機嫌		愛称がフルーツラインほっぺ落ち	
僕達で沢線の未来見届ける		左沢線で知った名「大江町」	
汽笛一声発車はしたガ蒸気足りなく引返す	匿名	あてらざわ読み方知った旅土産	あんちゃん
終戦時主力の機関車C12		より一層ブルーが映える雪景色	
時代の変りか写真にも見えず		降りる駅起してくれる国訛り	
トンネルの暗やみい出て真っ先に	H.A	車窓より眼下に広がる最上の絶景	石橋
目一杯の最上川三つのアーチ川面に映える		4,50分うたたねしてあてらざわ	山形のレデーババ
朝走る6両本気の通学列車		静かです会話聞こえぬ皆スマホ	
左沢寒河江と難読駅多し		沢線ではなやぐ新人第一歩	夢野継木（ゆめのつづき）
「あてらざわ」「ひだりさわ」と読む人多い			
初夏走る風っこ号は人気者			
酒田まで昔小舟で今列車	まっ赤なりんご	汽車の煤窓からシャツに落とし墨	
左沢僕が主役のロケに行く	勝義	汽笛と車輪の轟き目覚む冬	
さくらんぼ畑見とれている車窓	フーマー	あの瞳今日も三号車で車窓見る	西寒河江ウエルマート
夕焼けと仲いい二人に左沢	豆風	C11風切り走る額の中	
バルコニの眺めなにより最上橋		県都へとトンネルススキ出る列車	
サガエかな読み方ちゃんとあってらあ		えきそばで朝食済ませ昼もそば	
あてらざわ交わす笑顔もさくらんぼ		ホームから先輩確認一本見送る	
おおえなフルーツラインの旅の空		天ぶらそばまだできないので一本見送る	ニチイからビブレ

川柳	ペンネーム	川柳	ペンネーム
移動距離0メートルでも往復運賃	裏長谷川川柳	舟唄と左沢線は日本一	ポケ爺
あてらざわさくらんぼ待つ二人旅	かきくけ子	左線で最上川舟唄懐かしむ	
ざわ線の車窓に川の歴史見る		左線は歴史をつなぐ宝物	
左沢線ローカルじゃない6車輛		左線の百年足音今聞こえ	kumakamo
沢線にノーベル地域貢献賞		最上川車窓と流れゆるゆるり	
左沢行く咲く頃と実る頃		見つけたよ線路の端だったんだ	もうも
左沢フルーツの味人の味		恋仕事運も車内で左沢	
舟運の歴史も探し左沢		青白の車両海辺へ誘（いざな）えり	くうけん
寒河江駅雪と訛りが混じり合う	エミテン2	畑仕事時間目安は上下線	チロル
用なしにならぬフルーツライン乗る		汽車電車ガスカーディーゼル100周年	
見送りの方が多いぞ寒河江駅		季節感移ろい感じる車窓かな	匿名
爺ちゃんと同級生の左沢		醍醐味は無人駅での途中下車	匿名
雪よりも乗り継ぎミスに気を付けろ		無人駅言葉を交わす列車愛	匿名
行き帰りメンバー同じ左沢		明治期の鉄橋渡るワクワク感	匿名
乗るよりも撮る人多い左沢		最上川雪に埋もれた車止め	匿名
沢線も生命線も短いな		地味だけど乗っておいでよ沢線に	チャチャチャ
沢線も生命線も伸びてくれ！		左沢読めたら来てよ列車でね	
時刻表スカスカ過ぎて人に聞く		電子マネー使えると思って金がない	あやねる
会話より荷物が多い嫁ぐ朝	翡翠	トンネルを二つくぐれば大江町	ポケ爺
山駅のホームに満ちるキハの香（こう）		舟唄を左沢線で運ぶなり	
初デートボックス席で四人掛け	セーラー服	沢線は未来へつなぐ乗り物だ	
下宿屋に電車賃借り乗るざわ線		見よこれが日本一の左沢線	
		左線に乗れば舟の唄よみがえる	